

# 福岡新水巻病院 初期臨床研修プログラムA



Fukuoka shin-mizumaki hospital

社会医療法人財団 池友会

# 福岡新水巻病院

# 福岡新水巻病院臨床研修プログラム

1. プログラムの名称 : 福岡新水巻病院 初期臨床研修プログラムA

2. プログラムの目的と特徴

## 1) プログラム

このプログラムは、救急医療、プライマリ・ケアにおける基本的診療の知識、技能を習得し、総合的臨床能力と医療人としての正しい態度を身に付けることを目的とする。総合診療方式（スーパーローテイト方式）による2年間の初期臨床研修プログラムである。内科・救急科・小児科・産婦人科・外科・精神科・麻酔科及び地域医療・在宅診療の各科ローテーションを必須とし、かつ救急部門も平行し、急性期救急医療からプライマリ・ケアを主とした研修をベースに問診・初期診断・初期治療の実際から適切な判断能力を身につけるようにする。具体的には臨床研修到達目標（厚生労働省）を目的としている。

## 2) オリエンテーション

研修開始にあたり、研修上の注意点などについて、オリエンテーションを行う。

また、各施設・各部門の案内や、電子カルテシステムの指導を行う。

## 3) 研修期間割

必須科目として内科（24週）・外科（12週）・救急部門（12週）・麻酔科（4週）を基本研修科目として1年次に当院にて研修を行う。2年次では残りの必修科目である精神科を若戸病院または堤病院、一本松すずかけ病院で（4週）行い、小児科は北九州市立八幡病院で（4週）行い、産婦人科は東京品川病院、愛和病院、そらレディースクリニックで（4週）行う。地域医療は新武雄病院または協力施設である香椎丘リハビリテーション病院にて（4週、）行う。在宅診療は、なごみといやしのクリニックまたは菜の花診療所にて（0.2週）行う。一般外来については、内科・外科・小児科・地域医療研修を通じて学ぶ。救急部門での研修はそのほか2年間を通じ週1回程度の宿日直にて行う。2年次はさらに基幹型・協力型臨床研修病院・協力施設（福岡新水巻病院・福岡和白病院・新小文字病院・新行橋病院・新武雄病院）の内科系・外科系の診療科の中より将来専門とする診療科に関連した診療科を選択し、研修することができる。ただし福岡新水巻病院（基幹型臨床研修病院）での研修は、2年間で必須科目・将来専門とする診療科に関連する診療科（選択科目）含めて52.2週以上の研修期間を必要とする。

※いずれの科も研修終了時点で研修医評価表を研修医・指導医の双方が記載し、研修内容の評価を行う。

※1年次24週の内科研修期間内において、各協力病院（福岡和白病院、新小文字病院、新行橋病院）での研修（各病院最長12週限度）を本人の希望により、可能とする。

※臨床研修協力施設での研修期間は最大12週とする。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。

[1 年次研修] (例)

内科 24週	※協力病院(福岡和白・新小文字・新行橋) での研修(各病院最長12週限度)可。	救急部門 12週	外科 12週	麻酔科 4週
福岡新水巻病院※				
救急(随時)				

[2 年次研修] (例)

小児科 4週	産婦人科 4週	精神科 4週	地域医療 4週	在宅 医療 0.2週	選択科目 35.8週
北九州市立 八幡病院	東京品川 病院 そらしデ ィースク リニック 愛和病院	若戸病院 堤病院 一本松す ずかけ病 院	香椎丘リハ ビリテーシ ョン病 院 新武雄病 院	なごみ といや しのク リニッ ク 菜の花 診療所	福岡新水巻病院・福岡和白病院 新小文字病院・新行橋病院・新武雄病院 セントマザー産婦人科医院
					救急(随時)

4) 救急研修

救急研修は1年次に12週行う。さらに、1年次から2年次終了の2年間を通じて救急部門にてローテート科と重複して行うものとする。当プログラムにおいて基礎となる救急研修は1, 2次救急医療とプライマリ・ケアの修得の場であり、初期診断からその適切なコンサルテーションまでの一連の基本的診療技術を研修する。

5) 外来研修

指導医の下で、各科における外来研修を行う。

6) 夜勤

1年次から1週間に1回の程度で、夜勤として救急患者の診療に当たることで、1, 2次、時に3次にわたる救急医療を体験し、救急時の初期対応ができるようにする。また、夜勤を行う上での注意などにつき、各科部長・医長によるクルズスが行われる。

7) 研修医会議

月1回(第2水曜日)研修医会議を開催し、研修医同士での意見交換及び病院に対する意見や要望を出し、今後の研修環境を改善していくことを目的とする。原則すべての研修医が参加する。

8) 研修管理委員会

月1回(第3月曜日)研修委員会を開催し、研修上の問題点について話し合い、より良い研修を行うことを目指している。研修医の代表も参加する場合がある。

9) 医療安全管理委員会

月1回医療安全管理委員会を開催している。研修医の代表も参加する。

10) 院内感染対策委員会

月1回院内感染対策委員会を開催している。研修医の代表も参加する。

#### 11) CPC 症例検討会

CPC 症例検討会が開催された場合は、原則すべての研修医が参加する。

#### 12) その他

院内では、様々な勉強会や抄読会が行われている。積極的に参加することが望ましい。

#### 1) オリエンテーションにおける研修上の注意点

- 1：医の倫理
- 2：医療事故防止および医療事故対策について
- 3：患者さんとの接し方と、信頼関係の構築
- 4：院内感染対策について
- 5：患者中心の医療とインフォームドコンセントについて
- 6：上級医との密なるコミュニケーション
- 7：カルテの記載と退院時病歴要約
- 8：医療制度と診療報酬、医療保険と医療機関（保険医）について
- 9：診療情報提供（カルテ開示など）
- 10：電子カルテシステム
- 11：その他

#### 2) クルズス

- 1：薬の処方について
  - \* 特に小児の処方量について
  - \* 電子カルテシステム上の処方
- 2：血管の確保および採血
  - \* 静脈ラインの確保、動脈ラインの確保
  - \* 静脈血採血、動脈血採血
- 3：心肺蘇生術のABC、CPR/ガイドライン2020、BLS/ACLS
- 4：ハートモニターの見方
- 5：心電図の読み方
- 6：胸部レントゲンと胸部CTの読影
- 7：腹部レントゲン、腹部エコーと腹部CT
- 8：頭部CTと頭部MRI
- 9：ランチョンカンファレンス
- 10：消化器カンファレンス
- 11：循環器カンファレンス
- 12：脳神経外科カンファレンス
- 13：整形外科カンファレンス

### 3. プログラム指導者と協力型病院・施設の概要

1) プログラム責任者 福岡新水巻病院 金 茂成 (副院長、脳神経外科部長)

#### 2) 基幹型病院所在地

社会医療法人財団 池友会 福岡新水巻病院

所在地 : 〒807-0051 福岡県遠賀郡水巻町立屋敷 1-2-1

TEL 093-203-2220 FAX 093-203-2221

病院長 : 藤井 茂

#### 3) 学会認定施設

日本外科学会外科専門医制度修練施設

日本泌尿器科学会専門医教育施設

日本整形外科学会専門医制度研修施設

日本脳神経外科学会専門医制度基幹(連携)施設

日本形成外科学会教育関連施設

日本消化器外科学会専門医制度関連施設

日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設

日本脳卒中学会認定一次脳卒中センターコア施設(PSC コア施設)

日本脳卒中学会認定研修教育病院

日本脳神経血管内治療学会専門医制度研修施設

日本内科学会教育関連病院

日本麻酔科学会認定病院

日本医学放射線学会 放射線科専門医修練機関

日本病理学会研修登録施設

#### 4) プログラムに参加する協力型病院及び施設の概要

##### ①医療法人 三芳会 若戸病院 (協力型病院)

所在地 : 〒808-0132 北九州市若松区小敷ひびきの1丁目10番1号

TEL 093-742-2000 FAX 093-742-2003

病院長 : 奈良崎 悦男

##### ②社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院 (協力型病院)

所在地 : 〒811-01213 福岡県福岡市東区和白丘 2-2-75

TEL 092-608-0001 FAX 092-607-3051

病院長 : 富永 隆治

③社会医療法人財団 池友会 新小文字病院（協力型病院）

所在地：〒802-0026 福岡県北九州市門司区大里新町 2-5  
TEL 093-391-1001 FAX 093-391-7001  
病院長：高橋 雄一

④社会医療法人財団 池友会 新行橋病院（協力型病院）

所在地：〒824-0026 福岡県行橋市道場寺 1 4 1 1 番地  
TEL 0930-24-8899 FAX 0930-22-5551  
病院長：正久 康彦

⑤一般社団法人 巨樹の会 新武雄病院（協力型病院）

所在地：〒843-0024 佐賀県武雄市武雄町大字富岡 12628  
TEL 0954-23-3111 FAX 0954-23-0208  
病院長：藤田 博正

⑥北九州市立八幡病院（協力型病院）

所在地：〒805-0061 福岡県北九州市八幡東区西本町 4 丁目 1 8- 1  
TEL 093-662-6565 FAX 093-662-1796  
病院長：岡本 好司

⑦医療法人 成晴会 堤病院（協力型病院）

所在地：〒811-4224 福岡県遠賀郡岡垣町鍋田 2-1-1  
TEL 093-282-1234 FAX 093-282-1236  
病院長：堤 康晴

⑧医療法人社団 東京巨樹の会 東京品川病院（協力型病院）

所在地：〒140-8522 東京都品川区東大井 6-3-22  
TEL 03-3764-0511  
病院長：蒲池 健一

⑨医療法人 和光会 一本松すずかけ病院（協力型病院）

所在地：〒825-0004 福岡県田川市大字夏吉 142 番地  
TEL 0947-44-2150  
病院長：林田 隆晴

⑩医療法人 産科・婦人科 愛和病院（協力型病院）

所在地：〒811-3101 福岡県古賀市天神 5 丁目 9-1  
TEL 092-943-3288  
病院長：松尾 直裕

⑪セントマザー産婦人科医院（協力施設）

所在地：〒807-0825 福岡県北九州市八幡西区折尾 4-9-12  
 TEL 093-601-2000 FAX 093-691-5004  
 病院長： 田中 温

⑫医療法人社団わかば会 そらレディースクリニック（協力施設）

所在地：〒811-0213 福岡市東区和白丘 2-2-45  
 TEL 092-605-3511 FAX092-608-6400  
 病院長： 林 広典

⑬社会医療法人財団 池友会 香椎丘リハビリテーション病院（協力施設）

所在地：〒811-0002 福岡県福岡市東区下原 2-24-36  
 TEL 092-662-3200 FAX092-662-5066  
 病院長： 松尾 義孝

⑭医療法人なごみといやし なごみといやしのクリニック（協力施設）

所在地：〒843-0024 佐賀県武雄市武雄町大字富岡 12624 番地 5  
 TEL 0954-23-7537 FAX 0954-23-7456  
 病院長： 丸山 誠代

⑮菜の花診療所（協力施設）

所在地：〒811-3209 福岡県福津市日蒔野 5 丁目 5-1-102  
 TEL 0940-38-5220 FAX 0940-38-5230  
 病院長： 平部 俊哉

5) 研修管理委員会

当委員会は、福岡新水巻病院初期研修プログラムに基づく研修医の受入れから、管理・運営についての諸々の一切についての検討をするものとし、以下のとおり構成される。

委員会役職名	氏名	診療科	所属	院内役職名
研修管理委員長	藤井 茂	内科	福岡新水巻病院	院長
委員 (プログラム責任者)	金 茂成	脳神経外科	福岡新水巻病院	副院長、脳神経外科部長
委員 (副プログラム責任者)	角本 孝介	脳神経外科	福岡新水巻病院	脳血管内治療科部長
委員	多賀 聡	外科	福岡新水巻病院	外科部長
委員	秋原 美華	小児科	福岡新水巻病院	小児科医長
委員	畠山 英嗣	整形外科	福岡新水巻病院	整形外科部長

委員	戸島 康晴	形成外科	福岡新水巻病院	形成外科部長
委員	武田 宏之	放射線科	福岡新水巻病院	放射線科部長
委員	藤丸 竜哉	消化器内科	福岡新水巻病院	消化器内科部長
委員	飯原 清隆	泌尿器科	福岡新水巻病院	泌尿器科部長
委員	宮蘭 博貴	救急科	福岡新水巻病院	救急科部長
委員	小川 圭	麻酔科	福岡新水巻病院	麻酔科部長
委員	林 秀知	外科	福岡新水巻病院	消化器外科部長
委員	原武 讓二	病理診断科	福岡新水巻病院	病理診断科部長
委員	松尾 直裕	産婦人科	愛和病院	院長
委員	奈良崎 悦男	精神科	若戸病院	院長
委員	堤 康晴	精神科	堤病院	理事長、院長
委員	林田 隆晴	精神科	一本松すずかけ病院	理事長、院長
委員	高橋 雄一	脊髄脊椎外科	新小文字病院	院長、脊髄脊椎外科主任部長
委員	富永 隆治	心臓血管外科	福岡和白病院	院長
委員	正久 康彦	外科 救命救急部	新行橋病院	院長、救命救急部主任部長
委員	岡本 好司	外科 呼吸器外科 小児外科	北九州市立八幡病院	院長 消化器・肝臓病名誉センター長
委員	林 広典	産婦人科	そらレディースクリニック	院長
委員	田中 温	産婦人科	セトマザ産婦人科医院	院長
委員	新海 正晴	総合内科	東京品川病院	副院長
委員	松尾 義孝	リハビリテーション科	香椎丘リハビリテーション病院	院長
委員	藤田 博正	外科	新武雄病院	院長
委員	丸山 誠代	内科	なごみといやしのクリニック	院長
委員	平部 俊哉	内科	菜の花診療所	院長
委員	立石 康一郎	歯科	めぐみ歯科クリニック水巻	院長
委員	木通 幸代	看護部	福岡新水巻病院	看護部長
委員	安永 綾子	検査科	福岡新水巻病院	医療技術部長
委員	柴田 将次	事務部	福岡新水巻病院	総務課課長



6) 責任者及び指導医数

福岡新水巻病院 研修実施責任者リスト

科 名	研修実施責任者名	出身大学 卒業年	資格等
内科 (指導医 3名)	藤井 茂	聖マリアンナ医 科大学	日本心血管インターベンション 学会認定医、名誉専門医 人間ドック認定医
外科 (指導医 3名)	多賀 聡	産業医科大学 1990年	外科専門医・指導医 消化器外科認定医・乳癌認定医
救急科 (指導医 2名)	宮蘭 博貴	川崎医科大学 1997年	日本救急医学会救急科専門医 日本人間ドック認定医
麻酔科 (指導医 1名)	小川 圭	香川医科大学 2004年	日本麻酔科学会麻酔科専門医

〔協力型臨床研修病院〕

若戸病院

精神神経科 (指導医 1名)	奈良崎 悦男		精神保健指定医
-------------------	--------	--	---------

福岡和白病院

内科 (指導医 3名)	富永 隆治	九州大学 1975年	日本胸部外科学会認定医 日本胸部外科学会指導医
外科 (指導医 13名)			

新小文字病院

内科 (指導医 2名)	高橋 雄一	徳島大学 2004年	日本脳神経外科学会専門医 日本脳神経外科学会指導医 日本脊髄外科学会認定医 日本脊髄外科学会指導医
外科 (指導医 11名)			

新行橋病院

内科 (指導医 2名)	正久 康彦	宮崎大学 1984年	日本外科学会専門医 日本救急医学会専門医
外科 (指導医 6名)			

新武雄病院

(地域医療) (指導医 11名)	藤田 博正	慶応義塾大学 年	日本外科学会認定医、日本外科学会専門医、日本外科学会 指導医、日本消化器外科学会認定医 日本消化器外科学会専門医、日本消化器外科学会指導医、 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本胸部外科学会認定医、日本胸部外科学会指導医、日本 食道学会認定医、日本食道学会食道外科専門医 日本気管食道学会認定医、日本気管食道学会専門医 (外科食道系)、日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本がん治療認定医機構暫定教育医
---------------------	-------	-------------	---

北九州市立八幡病院

小児科 (指導医 8名)	岡本 好司	産業医科大学 1985年	産業医科大学医学部臨床教授 佐賀大学医学部客員教授兼臨床教授 日本外科学会認定医・専門医・指導医 日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医 日本肝胆膵外科学会高度技能指導医 日本肝臓学会専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本乳癌学会認定医 日本腹部救急医学会 腹部救急暫定教育医・腹部救急認定医 消化器 がん外科治療認定医 日本 Acute Care Surgery 学会 Acute Care Surgery 認定外科医 日本血栓止血学会血栓止血認定医 医療系大学間共用試験実施評価機構 OSCE 評価者認定 日本 DIC 研究会世話人 日本肝臓内視鏡外科研究会世話人 日本内視鏡外科学会評議員 日本肝胆膵外科学会評議員 日本血栓止血学会理事・代議員 日本腹部救急医学会理事・評議員 日本外科感染症学会理事・評議員 日本病態プロテアーゼ学会評議員 九州外科学会評議員 日本 Microwave Surgery 研究会評議員 日本 Acute Care Surgery 学会評議員 福岡救急医学会評議員 北九州市八幡医師会副会長
-----------------	-------	-----------------	---

堤病院

精神神経科 (指導医 3名)	堤 康晴		精神保健指定医
-------------------	------	--	---------

一本松すすかけ病院

精神神経科 (指導医 1名)	林田 隆晴		精神保健指定医
-------------------	-------	--	---------

東京品川病院

産婦人科 (指導医 1名)	秋山 邦久	日本大学 1985年	日本産婦人科学会専門医/指導医 母体保護法指導医 第12回「臨床研修指導医のための教育ワ ークショップ」
------------------	-------	---------------	---

愛和病院

産婦人科 (指導医 2名)	松尾 直裕	福岡大学 1981年	日本産婦人科学会専門医/指導医 母体保護法指導医 日本東洋医学会認定漢方専門医 平成29年度福岡県医師会臨床研修指導医 講習会受講
------------------	-------	---------------	---

〔協力施設〕

セントマザー産婦人科医院

選択科目(婦人科) (指導医 1名)	田中 温	順天堂大学 1976年	日本産科婦人科学会認定医 日本臨床細胞診指導医
-----------------------	------	----------------	----------------------------

### そらレディースクリニック

産婦人科 (指導医 1名)	林 広典	九州大学	日本産科婦人科学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医 日本麻酔科学会認定医 日本周産期新生児医学会周産期専門医 日本臨床細胞学会認定細胞診専門医 日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医 日本女性医学学会認定 女性ヘルスケア専門医
------------------	------	------	--

### 香椎丘リハビリテーション病院

(地域医療)	松尾 義孝	長崎大学 1994年	日本脳神経外科専門医 日本脳卒中学会専門医 日本脳神経血管内治療学会専門医
--------	-------	---------------	---

### なごみといやしのクリニック

(在宅医療)	丸山 誠代	福岡大学 2006年	日本内科学会認定総合内科専門医 日本循環器学会認定循環器専門医 日本抗加齢医学会認定専門医 日本医師会認定産業医 日本糖尿病協会療養指導医 日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医 日本糖質制限医療推進協会提携医 日本医師会認定健康スポーツ医 日本医師会認定かかりつけ医 認知症サポート医 和温療法研修会修了医
--------	-------	---------------	--

### 菜の花診療所

(在宅医療)	平部 俊哉	宮崎医科大学 1997年	救急科専門医 認定内科医
--------	-------	-----------------	-----------------

## 4. プログラムの管理運営体制

年度のはじめに研修管理委員会を開催し、前年度における研修を評価するとともにプログラムおよび運営上の諸々の問題点を検討し、修正すべき点を協議立案し、委員会の承認の上で更新する。

## 5. 教育課程

### 1) 所属および配置

初期研修の2年間は臨床研修管理部の所属として、当院は内科系・外科系診療科の責任者を主に研修委員とし、協力型臨床研修病院及び施設においては研修実施責任者を研修委員とする。

1年次は、必須科目である内科、外科、救急及び麻酔科を定められた週単位においてローテーションし、2年次は必須科目である地域医療、小児科、産婦人科、精神科を研修。その後選択科目（循環器科・整形外科・脳神経外科・心臓血管外科・泌尿器科・形成外科・脊髄脊椎外科・眼科・放射線科）において研修する。さらに1，2年次を通して救急総合診療も研修する。

必須科目の地域医療については協力病院である新武雄病院または、協力施設である香椎丘リハビリテーション病院で行い、精神科研修については協力病院である若戸病院・堤病院・一本松すずかけ病院にて行い、産婦人科研修については東京品川病院、愛和病院、またはそらレディースクリニックで行い、小児科については北九州市立八幡病院にて行う。在宅診療は、なごみといやしのクリニックまたは菜の花診療所にて行う。一般外来については、内科・外科・小児科・地域医療研修を通じて学ぶ。選択科目は当院及び協力病院の福岡和白病院・新小文字病院・新行橋病院・新武雄病院・セントマザー産婦人科医院のそれぞれの診療科を選択して研修を行うことができる。

## 2) 研修内容と到達目標

研修プログラム参照

## 3) 教育に関する行事

①オリエンテーション 4月1日付採用予定とし、3月下旬頃より研修オリエンテーションを行う。

②各種カンファレンス

③年次終了時に研修修了式を行う。その際、2年次修了者には臨床研修修了証を授与する。

## 4) 指導体制

### 【内科・外科】

研修医1～2名に対し、原則として上級医と指導医とでチームをつくり、一緒に診療にあたり、共に、ベッドサイドでの実践的な臨床指導を行う。尚、各科の研修実施責任者は研修医の全般においての監督、指導を行う。

### 【救急部門（当直・救急診療）】

研修医1～2名に対し、救急指導者又は指導医がつき、研修医は診療に参加しつつ指導を受ける。

### 【小児科・産婦人科・精神科・麻酔科】

研修医1～2名に対し、指導医1名をおく。

（福岡新水巻病院・若戸病院・堤病院・北九州市立八幡病院・東京品川病院・一本松すずかけ病院・愛和病院・そらレディースクリニック）

### 【地域医療】

研修医1～2名に対し、指導医または指導者1名をおく。

（新武雄病院・香椎丘リハビリテーション病院）

### 【在宅医療】

研修医1名に対し、指導者1名をおく。

（なごみといやしのクリニック・菜の花診療所）

### 【選択科（循環器科・整形外科・脳神経外科・心臓血管外科・泌尿器科・形成外科・脊椎椎外科・眼科・放射線科・婦人科）】

研修医1～2名に対し、指導医1名をおく。

(福岡新水巻病院・福岡和白病院・新小文字病院・新行橋病院・新武雄病院・  
セントマザー産婦人科医院)

5) 研修評価

自己評価と指導医評価を EPOC2 にて行い、各科ローテーション終了毎に評価を行い、2 年次の研修修了時に総点検を行う。

6) 修了認定

各研修医が EPOC2 により2年間の研修による到達目標の達成を申告し、研修管理委員会がその実績を調査し、到達目標の達成度を確認し修了を認定する。

7) 終了後のコース

3年次以降は、希望により各科より毎年定められる定員の範囲内においてスタッフとして継続採用され、専攻医研修へ進むことができる。

但し、定員を超える希望科については、初期研修における研修成績を参考とし、採用者を選考するものとする。

## 6. 研修医の処遇

- |               |  |
|---------------|--|
| ①処遇の運用        | 福岡新水巻病院独自の処遇とする。   |
| ②常勤・非常勤の別     | 福岡新水巻病院常勤医師  |
| ③研修手当         | <1年次> 基本給 458,410円<br>※夜勤手当(4回/月)、定額残業手当含む<br><2年次> 基本給 500,220円<br>※夜勤手当(4回/月)、定額残業手当含む |
| ④勤務時間         | 基本的な勤務時間 8:30～17:30<br>※休憩時間 12:30～13:30<br>時間外勤務 有                                      |
| ⑤休 暇          | 有給休暇 1年次10日・2年次11日   |
| ⑥夜 勤          | 回数(約5回/月)  |
| ⑦研修医の宿舎       | 有 単身用 8戸   |
| ⑧研修医の病院内の個室   | 有(研修医ルーム)  |
| ⑨社会保険<br>労働保険 | 公的医療保険(池友会健康保険組合)<br>公的年金(厚生年金)<br>労働者災害補償保険 有<br>雇用保険 有                                 |
| ⑩健康管理         | 健康診断 2回/年  |
| ⑪病院賠償責任保険     | 病院において加入する<br>個人加入 任意  |
| ⑫外部の研修活動      | 学会、研修会等への参加 可<br>学会、研修会等への参加費用の支給 有  |
| ⑬アルバイト        | 原則禁止   |

## 7. 研修医の募集定員

1年次 4名      2年次 4名

## 8. 研修の募集及び採用の方法

- |            |   |
|------------|---|
| ①資料請求先     | 社会医療法人財団 池友会 福岡新水巻病院<br>〒807-0051 福岡県遠賀郡水巻町立屋敷1-2-1<br>TEL 093-203-2220/FAX 093-203-2221<br>E-Mail jinji3@shinmizumaki-hp.jp<br>URL <a href="http://www.f-shinmizumaki.jp/">http://www.f-shinmizumaki.jp/</a> |
| ②募集方法      | 公募  |
| ③募集必要書類    | 1.履歴書 2.卒業(見込み)証明書 3.指定の臨床研修願書  |
| ④選考方法      | 面接  |
| ⑤募集及び選考の時期 | 募集時期 4月1日頃～      選考時期 7月1日頃～  |
| ⑥マッチングの利用  | 有   |